

タイトル「**2022年度危機管理学部(公開)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1110		
科目名	文学 2		
担当教員	小泉 夏子		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	木 2		
講義室	1307	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D〔市民的素養と市民的教養〕市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観、動機を動員することができる。 DP2-A〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕地球的視点で物事を多面的に捉え、日本の精神文化を理解し異文化との交流の重要性を認識することができる。 DP4-I〔表現力・分析力〕文章表現を扱いつつ、情報の収集と取舍選択、分析を円滑に粉うることができる。 DP6-K〔表現力・対話力、ライティングコミュニケーション、オーラルコミュニケーション〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 A1 文化的自己意識、文化的多様性への理解（10%） A2 異文化適応、言語的コミュニケーション（10%） D1 文化的素養、知識の獲得、市民参加のためのコミュニケーション、市民的行動と省察と参加（40%） I1 内容理解、文理構造の分析、解釈、読者の声（15%） I2 表現、コミュニケーション（5%） K1 ライティング・コミュニケーション、目的及び文脈の理解、構成、内容の展開（10%） K2 オーラル・コミュニケーション、内容の構造化、言葉選び、話しの運び（10%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	2進期～3発展期		
科目概要・キーワード	昭和期・平成期の日本文学について、具体的なテキストの読解を通して考察していきます。文学は、政治・経済・文化の諸ジャンルとの交錯の中で構築されてきました。ここでは文学作品だけでなく、法制度や経済についての言説、演劇や美術、広告のコピーなど様々な表現を取り上げ、多角的な視点で昭和文学を読む力を身につけることを目標とします。授業形態は講義式で行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、または各授業を補完・代替するためのオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 キーワード：言語的コミュニケーション・コミュニティと文化の多様性・内容理解・解釈・言葉選び・内容の構造化		
授業の趣旨	■ 副題 文化的素養と市民的教養を修得し大学生活を送るうえで必要な言語的コミュニケーション、分析力、表現力、書く力を身につける。 ■ 授業の目的		

	日本の精神文化を理解し、多様な価値を受容する能力を養うのに必要な分析力、探求力、表現力、対話力を修得し、他者理解能力など市民生活や大学生活を送るうえで必要な能力を身につける。 ■授業のポイント 日本近代文学の作品を読むことを通して、総合的な日本語力と読解力、文脈に応じて言語を理解する内容理解力、分析力を習得する。文学作品を通して想像力を養い、文化的多様性を理解する。								
総合到達目標	■市民的素養と市民的教養を身につけるために、日本文学の基礎知識と、作品の読解方法を理解する。 ・日本近現代文学の作品を読み、文脈を的確に読解することができる。(2～13回) ・作品の文体や表現方法、背景を具体的に説明することができる。(2～13回) ■日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢を身につけるために、日本文化・異文化の理解を深め、物事を多角的に捉える態度を習得する。 ・文学作品から、時代・環境・年齢・性別など自分と異なる立場の人間の感情や問題を読み取り、多様な視点で物事を考察することができる。(2～13回) ・文学作品の読解を通して、日本の精神文化を理解し、説明することができる。(2～13回) ■理解力・分析力・表現力・コミュニケーション能力を高めるために、作品を正確に読解・分析し、自らの考えを的確に表現する技能を身につける。 ・文脈に応じて言語の持つ意味を正確に理解し、的確な言葉を用いて文章を記述することができる。(8、14回) ・自分の考えを形成し、他者に正確に伝える力を身につけて、コミュニケーションを円滑に行うことができる。(2～14回)								
成績評価方法	■毎回の授業時課題（50％）：適用ルーブリック A1・A2・I2・K2 （評価の観点）授業をよく視聴し、理解できているかどうかを見ます。文学作品の読解力と時代背景、文化、習俗の理解、語彙力、漢字を正確に読む力を朗読力で評価します。 （フィードバックの方法）提出後の授業時にフィードバックします。 ■リアクションペーパー（50％）：適用ルーブリック D1・I1・K1 （評価の観点）文学作品の内容理解、文理構造の分析、解釈、文脈の理解などが正確になされているかを問います。答案の表現が適切かどうかを評価します。 （フィードバックの方法）提出翌週の授業時に講評します。								
履修条件	特にありません。								
履修上の注意点	教科書は必ず持参してください。持たないで受講しても理解できません。また朗読しておくことが必要です。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス（全体テーマ、授業の進め方、成績評価の仕方などの説明）、イントロダクション ②授業概要 ガイダンス授業。授業の内容やスケジュール、成績評価の方法について確認する。（A1、I1） ③予習(120分) 関心のある小説を1作品読む。 ④復習（120分） 予習で読んだ作品の内容を、講義で学んだ方法で解釈し、ノートに書いておく。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 村上春樹作家案内と村上春樹短編集『神の子どもたちはみな踊る』の1編「UFOが釧路に降りる」をよむ（1）。 ②授業概要 村上春樹という作家がどのような作家であったのかを、文学史上の位置づけを踏まえた説明を受ける。作品全般の、当時の時代状況、文化、風俗の説明を受ける。（D1、I1） ③予習(120分) 作品全編を読む。 ④復習（120分） 講義で学んだ語彙を復習し、難しい言葉の知識の定着を図る。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 村上春樹短編集『神の子どもたちはみな踊る』の1編「UFOが釧路に降りる」をよむ（2）。 ②授業概要 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス（全体テーマ、授業の進め方、成績評価の仕方などの説明）、イントロダクション ②授業概要 ガイダンス授業。授業の内容やスケジュール、成績評価の方法について確認する。（A1、I1） ③予習(120分) 関心のある小説を1作品読む。 ④復習（120分） 予習で読んだ作品の内容を、講義で学んだ方法で解釈し、ノートに書いておく。	2	①授業テーマ 村上春樹作家案内と村上春樹短編集『神の子どもたちはみな踊る』の1編「UFOが釧路に降りる」をよむ（1）。 ②授業概要 村上春樹という作家がどのような作家であったのかを、文学史上の位置づけを踏まえた説明を受ける。作品全般の、当時の時代状況、文化、風俗の説明を受ける。（D1、I1） ③予習(120分) 作品全編を読む。 ④復習（120分） 講義で学んだ語彙を復習し、難しい言葉の知識の定着を図る。	3	①授業テーマ 村上春樹短編集『神の子どもたちはみな踊る』の1編「UFOが釧路に降りる」をよむ（2）。 ②授業概要
回	内容								
1	①授業テーマ ガイダンス（全体テーマ、授業の進め方、成績評価の仕方などの説明）、イントロダクション ②授業概要 ガイダンス授業。授業の内容やスケジュール、成績評価の方法について確認する。（A1、I1） ③予習(120分) 関心のある小説を1作品読む。 ④復習（120分） 予習で読んだ作品の内容を、講義で学んだ方法で解釈し、ノートに書いておく。								
2	①授業テーマ 村上春樹作家案内と村上春樹短編集『神の子どもたちはみな踊る』の1編「UFOが釧路に降りる」をよむ（1）。 ②授業概要 村上春樹という作家がどのような作家であったのかを、文学史上の位置づけを踏まえた説明を受ける。作品全般の、当時の時代状況、文化、風俗の説明を受ける。（D1、I1） ③予習(120分) 作品全編を読む。 ④復習（120分） 講義で学んだ語彙を復習し、難しい言葉の知識の定着を図る。								
3	①授業テーマ 村上春樹短編集『神の子どもたちはみな踊る』の1編「UFOが釧路に降りる」をよむ（2）。 ②授業概要								

	上記の作品内容を把握し、登場人物の感情を読み取る。教員が朗読するのをテキストで追って、よく聞き取る。(D1、I1) ③予習(120分) 作品の全編を読み、あらすじをノートにまとめる。 ④復習(120分) 講義で学んだそれぞれの登場人物の性格を言語化してノートに書く。
4	①授業テーマ 村上春樹短編集『神の子どもたちはみな踊る』の1編「アイロンのある風景」をよむ(1)。 ②授業概要 1990年代当時の文学状況を学ぶ。また、小説を通して、心の痛みについて文学作品ではどのように描かれているかを学ぶ。教員が朗読するのをテキストで追って、よく聞き取る。(A1、D1、K1) ③予習(120分) 作品全編を3度読む。あらすじをノートに書く。 ④復習(120分) 同時代評の感想をノートにまとめる。
5	①授業テーマ 村上春樹短編集『神の子どもたちはみな踊る』の1編「アイロンのある風景」をよむ(2)。 ②授業概要 上記の作品の内容把握をし、作品中に表れるメタファー(隠喩)について学ぶ(D1、I1)。教員が朗読するのをテキストで追って、よく聞き取る。 ③予習(120分) 1990年の文化状況を図書館で調べてノートに記す。 ④復習(120分) 講義で学んだ知見をもとに「心の傷」の意味を掘り下げ、「見えないものが人間に与える影響」についての考察を作品に即して800字でまとめる。
6	①授業テーマ 村上春樹短編集『神の子どもたちはみな踊る』の1編「神の子どもたちはみな踊る」をよむ(1)。 ②授業概要 作品内容を把握し、本作で描かれている家族関係について「時代」をキーワードに説明を受ける。教員が朗読するのをテキストで追って、よく聞き取る。(A1、A2、D1、I1) ③予習(120分) 作品全編を2度読み、内容をノートに記す。 ④復習(120分) 本作品で描かれている時代背景を図書館のデータベースで調べて、重要記事を3篇選び、その内容をノートにまとめる。
7	①授業テーマ 村上春樹短編集『神の子どもたちはみな踊る』の1編「神の子どもたちはみな踊る」をよむ(2)。 ②授業概要 日本の宗教と母子関係について、日本独自の文化性を考察する。コメントペーパーの提出要領を説明する。(A1、A2、D1、I1、K2) ③予習(120分) 当時の社会状況、時代背景、文化風俗などの資料を図書館で探し、重要ポイントをノートにまとめておく。 ④復習(120分) 日本の宗教と母子関係について、日本独自の文化性の考察を800字程度でまとめる。
8	①授業テーマ 第2回～7回までの授業内容の確認、総復習をする。コメントペーパーを提出する。 ②授業概要 第2回～7回までの授業内容の説明を受ける。書き方の留意点やポイントの説明を受けて、コメントペーパーを提出する。(D1、I1) ③予習(120分) 第2回～7回までの授業内容の作品を読みなおし、重要ポイントをノートを見ながら再確認する。

	④復習（120分） コメントペーパーがうまく書けなかったところを、もう一度解きなおしておく。
9	①授業テーマ コメントペーパー提出課題の講評。村上春樹短編集『神の子どもたちはみな踊る』の1編「タイランド」をよむ ②授業概要 提出課題について、不足していることとわかりにくい表現など留意すべき点の説明を受ける。村上春樹短編集『神の子どもたちはみな踊る』の1編「タイランド」を教員が朗読するのをテキストで追って、よく聞き取る。。（D1、I1、K1） ③予習(120分) これまで読んだ作品をすべて2度再読し、ポイントをノートに取る。。村上春樹短編集『神の子どもたちはみな踊る』の1編「タイランド」を読んでおく。 ④復習（120分） フィードバックされたレポートを読み直し、留意点をノートしておく。
10	①授業テーマ 村上春樹短編集『神の子どもたちはみな踊る』の1編「タイランド」（2）をよむ。 ②授業概要 村上春樹短編集『神の子どもたちはみな踊る』の1編「タイランド」の解説を受け、海外の小説との比較を行う。教員が朗読するのをテキストで追って、よく聞き取る。（D1、I1、K1） ③予習(120分) これまで読んだ作品をすべて2度再読し、ポイントをノートに取る。村上春樹短編集『神の子どもたちはみな踊る』の1編「タイランド」を読んでおく。 ④復習（120分） フィードバックされたレポートを読み直し、留意点をノートしておく。
11	①授業テーマ 村上春樹短編集『神の子どもたちはみな踊る』の1編「かえるくん、東京を救う」（1）をよむ。 ②授業概要 東日本大震災を振り返り、文学作品にどのように描かれているか考察する。教員が朗読するのをテキストで追って、よく聞き取る。（I1,K1） ③予習(120分) 東日本大震災についてWEBや図書館で調べておく。 ④復習（120分） 授業時の解説ノートを読み、作品の隠れた深みについて、思いついたことを記しておく。
12	①授業テーマ 村上春樹短編集『神の子どもたちはみな踊る』の1編「かえるくん、東京を救う」（2）をよむ。 ②授業概要 東日本大震災を振り返り、どれほどの恐怖を人々に与えたのか、その後の日本はどうなったのか、この10年を振り返り、自分の見た物語作品（マンガ、映画、TVドラマ、ミュージックビデオなどなど）の特徴を考察する。（I1,K1） ③予習(120分) 東日本大震災および関連事項について、さらにWEBや図書館で調べておく。 ④復習（120分） 授業時の解説ノートを読み、作品の隠れた深みについて、思いついたことを記しておく。
13	①授業テーマ 村上春樹短編集『神の子どもたちはみな踊る』の1編「蜂蜜パイ」（1）をよむ。コメントペーパーについて説明する ②授業概要 作品の構造を見る。東日本大震災を振り返り、どれほどの恐怖を人々に与えたのか、その後の日本はどうなったのか、この10年を振り返り、自分の見た物語作品（マンガ、映画、TVドラマ、ミュージックビデオなどなど）の特徴を考察する第二回目。来週提出のコメントペーパーについての留意点と準備の説明をする。（I1,K1） ③予習(120分) 東日本大震災および関連事項について、さらにWEBや図書館で調べておく。 ④復習（120分） 授業時の解説ノートを読み、箱が意味することを考察し、思いついたことを記しておく。

	14	①授業テーマ 村上春樹短編集『神の子どもたちはみな踊る』の1編「蜂蜜パイ」（2）をよむ。今までの総復習をする。コメントペーパーを提出する。 ②授業概要 作品の構造を見る。東日本大震災を振り返り、どれほどの恐怖を人々に与えたのか、その後の日本はどうなったのか、短編集の意図が理解できたかの説明を受け、自分の意見をコメントペーパーに書いて提出する。（I1,K1） ③予習(120分) 今までのノートを見ておく。自分が無意識のうちに選んで読んだり視聴したりしている作品群をノートに書いておく。 ④復習（120分） 授業時の解説ノートを読み、箱が意味することを考察し、思いついたことを記しておく。
	15	①授業テーマ コメントペーパーの講評を受ける。期末テストを受ける。 ②授業概要 これまでの学習が身についたか、構成や書式など、講評を受けて文学作品読解の成果としての文章の書き方を修得し、その成果を見るためのテストを行う。終了後にコメント説明を行う。（A1、A2、D1、I1、K1） ③予習（120分） これまですべての復習とノートを点検する。東日本大震災と文学作品との関係を考察する。 ④復習（120分） 文学が社会や文化の中でどのような役割を果たしていたのか、また、小説を成り立たせている方法について800字の評論を段落構成に注意して書く。
関連科目		文学1（RMGT/SSCS 1109）
教科書		村上春樹『神の子どもたちはみな踊る』（新潮文庫、2002年）ISBN-13: 978-4101001500 438円(税別)
参考書・参考URL		授業内でプリント配布。および必要に応じてお伝えします。
連絡先・オフィスアワー		開講時にお知らせします。
研究比率		

